

# 長与町の学校教育

合言葉

楽しい学校 温かい家庭 住み続けたい長与

めざす児童・生徒像

具体的方策

具体的内容

## かしこい頭を

学ぶ意欲を高め、確かな学力を身につける



個に応じた指導

- 小学校1・2・6年生と中学校1年生の少人数学級編制及び特別支援教育支援員(19名)、教員補助員(6名)配置による個に応じたきめ細かな指導

言語活動の充実

- すべての教科・領域において、思考力・判断力・表現力の育成
- 英語によるコミュニケーション能力の育成をめざし、ALT(外国人指導助手)3名の配置
- 小学校教員と中学校英語担当教員が連携した英語活動の指導法についての研修会
- 中学1年生を対象に、「英語による長与町国際コミュニケーション活動(通称NICE)」の実施

ICT活用

- コンピュータの整備充実(児童生徒4.3人に1台、全教職員に1台)
- 各学級、特別教室に大画面TVと、それに接続するノートPCの整備
- 電子黒板(長与中全教室、第二中6台、高田中4台、各小学校1台ずつ)、タブレットPC(長与中145台、第二中・高田中45台、長与小・南小20台、その他の小学校10台)、実物投影機(各学年に1台)の整備

ながよ検定

- 「読み」「書き」「計算」の基礎学力の向上、家庭や学校で繰り返し練習することによる家庭学習の習慣化及びチャレンジ精神の育成等をめざした「ながよ検定」(漢字、計算、英語)の実施(合格者に認定証の交付)



## やさしい心を

お互いを尊重し、いじめのない楽しい学校生活を送る



道徳教育の充実

- 道徳の時間を要として、学校教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図り、やさしさとたくましさをあわせもった児童生徒の育成

人権・平和教育の充実

- 障害者や高齢者との触れ合い体験、事実や実生活と結びつく体験をとおした自他の人権を守るための実践力や行動力の育成
- 各校における被爆体験講話や平和宣言文起草などの平和集会の実施、原爆資料館や被爆遺構の訪問、「平和のつどい」への参加



特別支援教育の推進

- 学校内、医療機関、福祉関係者と一体となった特別支援教育の推進
- 小学校全校に特別支援学級、通級指導教室(うち3校は巡回通級指導)の設置
- 中学校全校に特別支援学級、1校に通級指導教室の設置
- 小・中学校全校に特別支援教育支援員を配置
- 小学校全校に「子どもと親の相談員」を、中学校全校に「心の教室相談員」を配置
- 適応指導教室(いぶき)の開設



文化的活動の推進

- 学校・家庭での10分間読書の推進による豊かな心の育成
- 小学校4年生を対象にした「小学生読書のつどい」(10月)の開催
- 中学校3年生を対象にした「中学校弁論大会」(6月)の開催



## たくましい身体を

生活リズムの向上と、積極的な体力づくりを行う

食育の推進

- 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進による生活リズムの維持向上
- 学校内や学校と共同調理場が連携した食物アレルギーへのきめ細かな対応
- 栄養教諭(4名)を中心とした食育指導の推進
- 共同調理場(南小・3中学校)、単独調理場(南小以外の4小学校)による給食の実施

スポーツの充実

- 小学校スポーツ教室、中学校部活動の適切な運営による生涯スポーツの基盤づくりの推進
- 児童生徒の体力向上や運動嫌い防止を目指した学校体育の推進
- 小学校6年生と中学校2年生を対象とした「小中学校ふれあいペーロン大会」(6月)の開催



## 地域で子どもを

みんなの目が、子ども達を見守っている

子どもの安全・安心

- 地域みんなで守る子どもの安全(防犯パトロール隊、学童を守る会、見守りボランティアなど)

家庭教育10か条

- 子どもの成長の基盤は家庭という認識の下、基本的な生活習慣の確立

いろいろな社会体験

- 地域の特徴を生かした社会体験をとおしての子どもの育成
- 熊本県球磨村との地域間体験交流学習

地域人材を活用した学校教育の推進

- 学校支援会議を充実させ、学校と保護者や地域が目指す子どもの姿を共有し、協力し合って子どもの成長にかかわっていく環境の整備

